

丸森町

(1) 概要

本町の公共下水道事業は、阿武隈川流域関連公共下水道として昭和60年度から工事に着手、平成3年4月に供用開始し、平成26年度末の普及率は26.8%、整備面積295.8haとなっています。農業集落排水は、これまでに大内、金山、小斎の3地区を整備し、平成26年度末で普及率は11.9%、整備面積は、108.9haで整備完了となっています。合併処理浄化槽事業については、平成7年度から個人設置型の事業手法を進めており普及率は37.9%となっています。当町の平成26年度末での全体普及率は、76.5%となっています。

本町においては、今後も公共下水道事業、農業集落排水始業及び個人設置型浄化槽事業で平成47年度までに普及率100%を目指していきます。

(2) 生活排水処理普及率の推移



(3) アクションプラン達成のための各事業の取組

1) 下水道事業（阿武隈川下流流域）

平成32年を整備完了として、未整備区域の下水道への接続等を計画的に整備を努めていきます。

特にクイックプロジェクト（発生土の再利用、曲管の使用など）を積極的に採用することでコスト縮減を図り早期の整備に努めていきます。



2) 集落排水事業（農集・漁集・簡易排水・コミプラ等）

農業集落排水事業は整備完了しているため、今後は処理区が公共下水道へ近接する金山、大内、小斎の3地区については事業効率を高めるため、将来的には段階的な公共下水道への接続を検討します。また、農集排の機能強化を踏まえながら適切な運営管理のもと統廃合を進めていきます。



3) 合併処理浄化槽整備事業

本町では、平成7年から個人設置型の浄化槽設置整備事業を行っています。国・町の補助金を交付し、合併処理浄化槽を設置する世帯に対して普及促進しています。また高齢化社会に伴い、浄化槽未普及人口が多いため普及促進が課題である。



(4) 住民との協働

広報誌による下水道の適切な使用方法や、接続の推進、浄化槽の普及促進などを積極的にPRし、水洗化率向上を図ります。